

## 四委員会合同研修会

開催日時：5月20日（木）15：00－17：00

研修場所：茨城県古河市

研修内容：積水ハウス株式会社 関東工場

「ゼロエミッションハウス」、「資源循環センター」



ウエルカムホールでの事前説明



ゼロエミッションハウスのリビング

「ゼロエミッションハウス」：

2008年7月、地球温暖化対策が主要テーマの一つとなった北海道洞爺湖サミットで、世界に発信されたゼロエミッションハウスは、さまざまな省エネ・新エネ・環境技術を組み合わせることで、快適な生活を実現しながらも、CO<sub>2</sub>の削減量が排出量を上回る理想的な「CO<sub>2</sub>オフの暮らし」を体現するエコロジーな住宅です。この先進の環境技術を結集した住宅をゼロエミッションセンターに移築され、「次世代エネルギーパーク」の一つとして一般に公開されています。

「住宅からのCO<sub>2</sub>排出オフ」<省エネ、創エネ（新エネルギー）>、と「建築廃棄物オフ」<省資源（環境技術）>を実現する、暮らしの快適と地球の快適を両立した家がこのゼロエミッションハウスの考え方だそうです。

「資源循環センター」：

ゼロエミッションハウスから少し離れた同じ敷地内には、新築施工現場やリフォーム施工現場、メンテナンス現場などから発生する廃棄物を最大80品目に分別し、資源として100%リサイクルしている「資源循環センター」があります。

新築施工現場では、プラスチックや木材などの廃棄物を27種類に分別、リフォーム現場では22種類に分別します。そしてその分別したものを定期的に回収し、ここ資源循環センターに運んできます。その回収した廃棄物をさらに細かく最大80品目に分別します。こうして分別された廃棄物は素材別に当工場内やリサイクル業者へ委託して、もう一度、建築材料や梱包材などに生まれ変わる「マテリアルリサイクル」が行なわれています。また「サーマルリサイクル」「ガス化溶融処理」などエネルギーとしても再利用されています。

当日は30名の参加をいただき、見学後の質疑応答も活発で、あいにくの雨にも負けない活気のある研修会となりました。

詳しい報告は、会報誌 No.186、6・7月号に掲載していますのでご覧ください。